

刑法問題用紙

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。(黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

問 以下の事例における下線部の行為につき、X、Yの刑事責任を論ぜよ。解答は、所定の解答用紙にしるせ。

【以下余白】

【事例】

Xは、5歳の長男Aの母親で、元夫と離婚後Aと2人で暮らしていたが、2000年3月から交際相手であるYと一緒に暮らすようになった。YはAを嫌い、Aを裸にして花火の火の粉を浴びせたり、両手両足をひもでしばって浴槽に沈めるなどの虐待行為を繰り返した。Xは、Yに嫌われて別れることになるのをおそれ、Yの暴行を放置し、YがAを浴槽に沈めたときには、自らもひもを用意したり、Aの両手両足をしばるのを手伝ったりした。Aは虐待により次第に衰弱し、同年8月には極度に衰弱した状態にあり、X、Yはこれを認識していた。同月のある日、X宅の居間において、YはAが食事をしようとしたことに対して因縁をつけ、「おまえなんかもう死ねばいいんだよ」「今日こそ本当に殺すぞ」などといいながら、Aの身体を激しく殴打し、Aをビニール製ゴミ袋の中に入れてその口を結んだ上、Aがぎりぎり入る程度の大きさのスーツケースに押し込んで蓋をし、鍵をかけた。Xは、当初はYがAに暴行をしている気配を感じながら別室で家事をしていたが、少し静かになったところで居間に赴くと、Aはすでにスーツケースの中におり、助けを求めて叫ぶなどしていた。Yの方を見ると、Yに目で合図をされたため、Xはこれを放置した。Aは数分後には静かになった。X、Yは、Aが死亡したものと考え、Aが入ったスーツケースを車で運び、川に投げ捨てた。そのとき、Aは衰弱して意識を失っていたがまだ息のある状態であり、川に投げ捨てられたことにより窒息死した。